



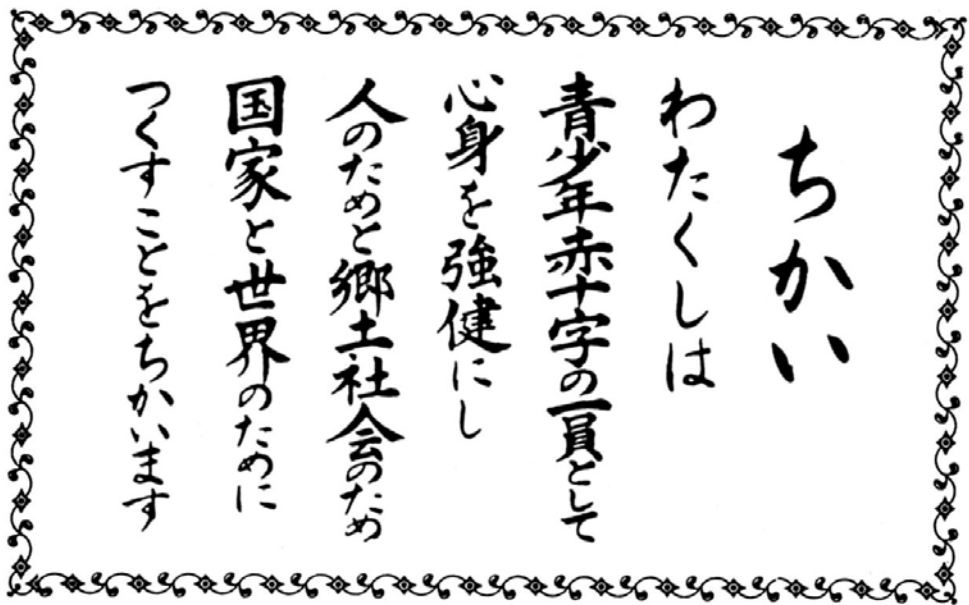
Junior Red Cross Hand Book



小学生
青少年赤十字ハンドブック



J. Henry Driessens



あなたは^{せいしょうねんせきじゅうじ}青少年赤十字のメンバーとして、^{かつどう}どんな活動
していますか。あなたも、^{せきじゅうじ}赤十字マークをつけて^{せかいじゅう}世界中で
^{かつどう}活動をしている^{なかま}仲間のひとりとして、^{じぶん}自分に^{なに}何ができるか、
^{かんが}考えてみましょう。

このハンドブックは、あなたが^{せいしょうねんせきじゅうじ}青少年赤十字メンバーと
して^{かつどう}活動するときに^{やくだ}役立つことを^{しょうかい}紹介しています。

^{なに}何か^わ分からないことや^{しら}調べたいことがあったら、このハ
ンドブックを^{ひら}開いてみて下さい。

もくじ

1. 青少年赤十字

- 04 青少年赤十字って何？
- 05 目的
- 06 特色
- 07 実践目標
- 08 ちかい
- 10 青少年赤十字のおこり

2. 青少年赤十字活動

- 12 ボランティアってなあに？
- 18 青少年赤十字活動
- 20 わたしにできること

3. 赤十字

- 26 アンリー・デュナンを知っていますか？
- 26 一口メモ「世界赤十字デー」
- 31 赤十字って何？
- 31 命を守る「赤十字マーク」
- 32 赤十字の基本原則
- 34 ジュネーブ諸条約
- 35 国際赤十字のしくみと活動
- 37 日本赤十字社のおこり
- 37 佐野常民と日本赤十字社
- 39 日本赤十字社の活動

4. 資料

- 42 世界の赤十字社・赤新月社
- 44 「空は世界へ」
- 45 「青少年赤十字の歌」
- 46 障がいのある人たちへ
- 46 点字
- 46 手話
- 47 車いす
- 48 すぐにできること

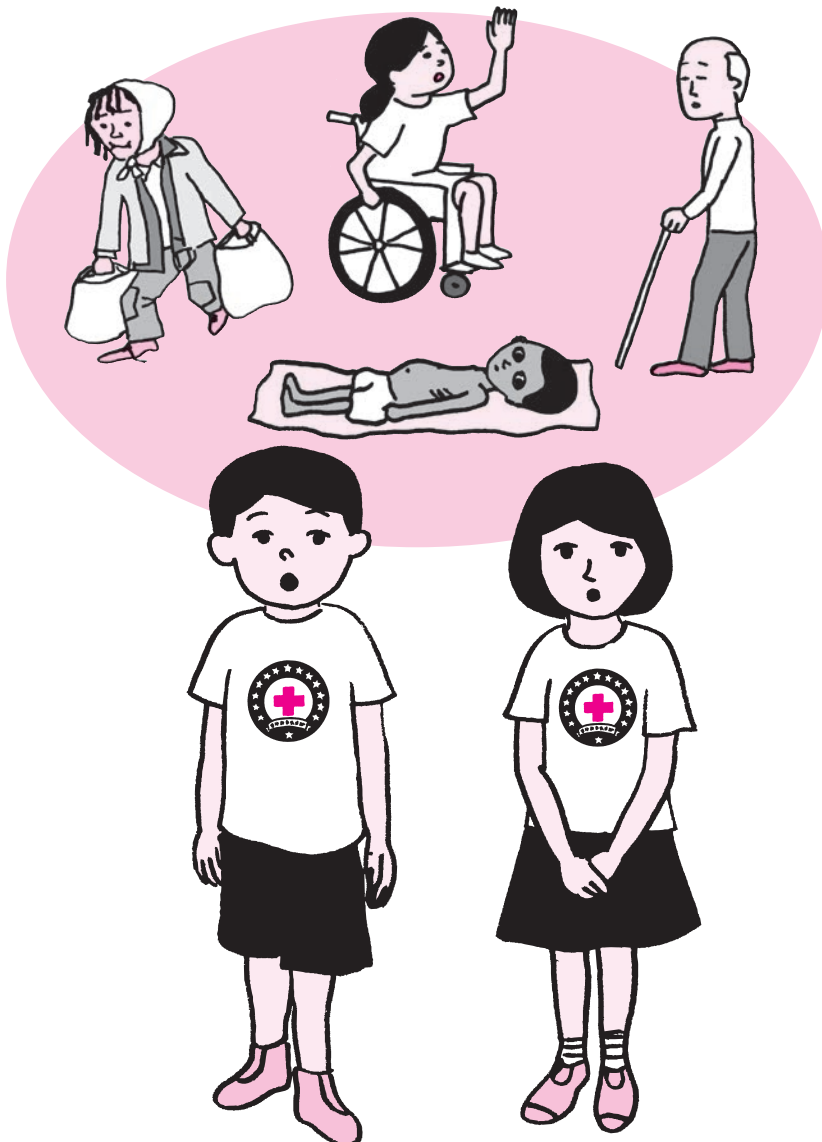
**Junior
Red
Cross
Hand Book**

1. 青少年赤十字

青少年赤十字って何？

わたしたちは、学校や町の中で、また新聞やテレビ、インターネットで、困っている人や苦しんでいる人を見かけることがあります。

そのとき、あなたの心の中にどんな気持ちが生れますか？

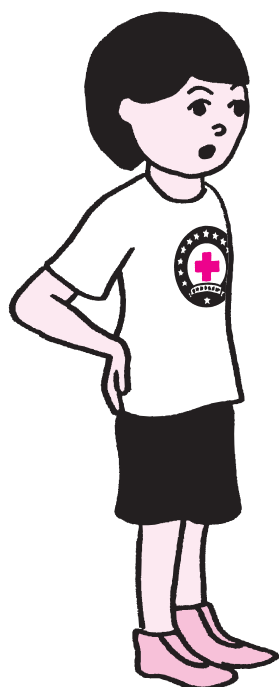




青少年赤十字は、だれの心にもある 困っている
人や苦しんでいる人を見たら何か役に立つことをし
てあげたい という気持ちを素直に行動に移す「赤
 十字」の人道の心を大切にして、人びとの幸せや世
 界の平和のために尽くせる人間になるよう努力する
 ことを目的としています。

なに
 何かを
 しなくては

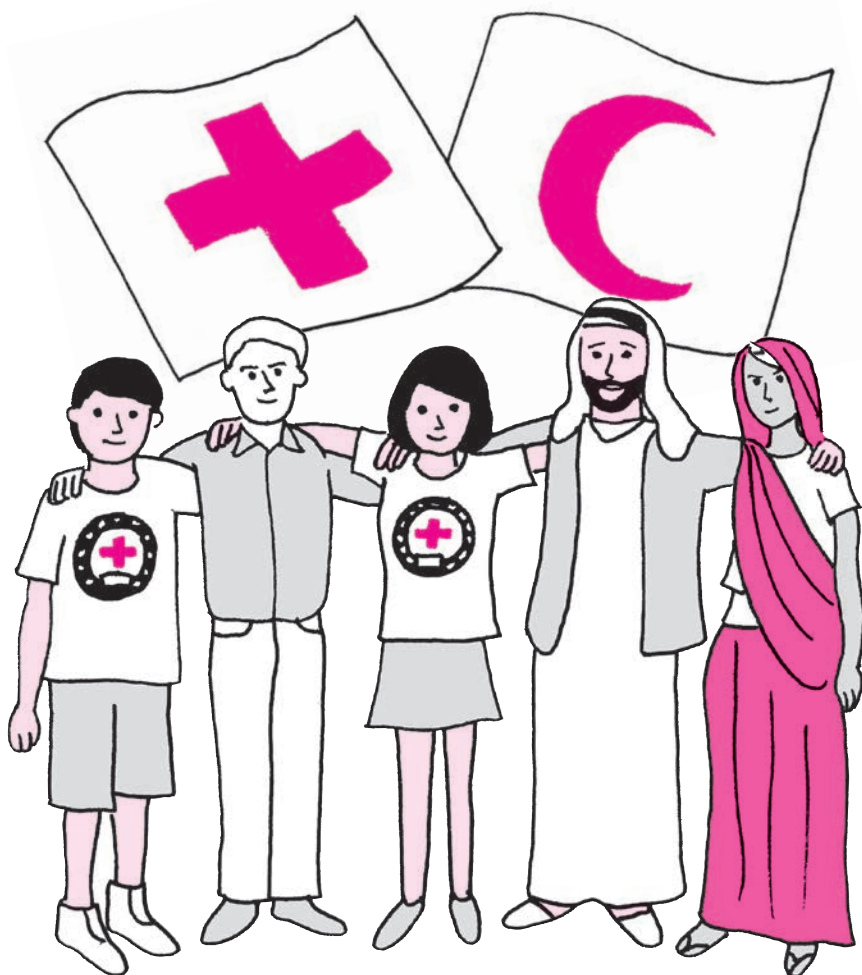
なに
 何かを
 してあげたい



特色

わたしたちの青少年赤十字は

- 幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の中にあります。
- 日本では、約14,400校におよそ349万人の仲間がいます。世界では2022年現在、192の赤十字社・赤新月社があり、たくさんの仲間がいます。
- 指導者は、幼稚園・保育所・学校の先生です。
- 世界中に広がる赤十字を活用し、国際的な交流や活動ができます。



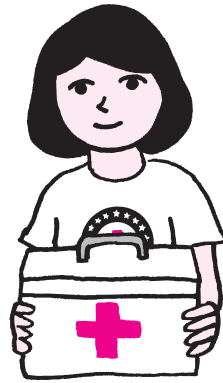


青少年赤十字の実践目標とは、 活動するときのねらいのことです。

1. 生命と健康を大切にする。

〈健康・安全〉

自分や自分以外の人たちの心と
体の健康を大切に、安全な生活を
心がけます。



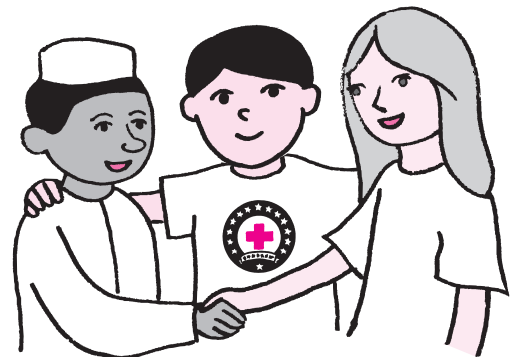
2. 人間として社会のため、人のために 尽くす責任を自覚し、実行する。〈奉仕〉

自分が今、他の人のために何が
できるかを考え、行動します。

3. 広く世界の青少年を知り、 なかよく助け合う精神を養う。

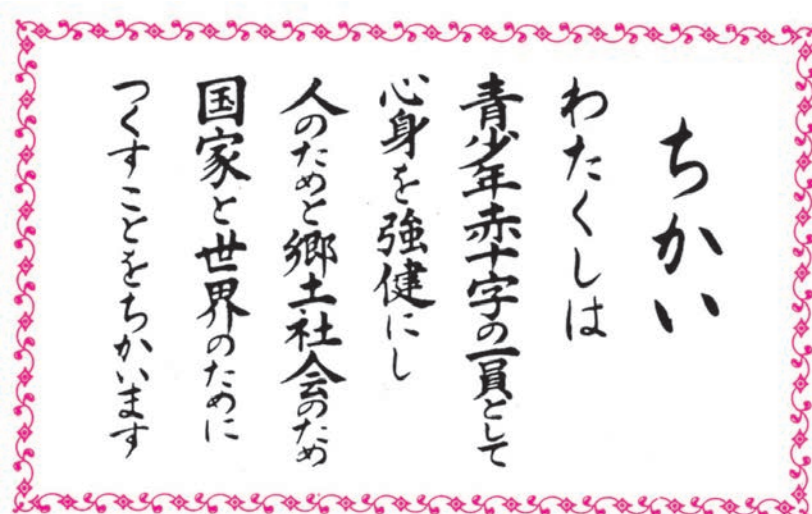
〈国際理解・親善〉

日本の仲間はもちろんのこと、外
国の人やその国のことを正しく理解し
て交流を深め、仲よく助け合います。





「ちかい」は、せい しょう ねん せき じゅう じ青少年赤十字の
もく てき む目的に向かって努力することを、
じ ぶん やく そく こと ば自分に約束する言葉です。



わたくしは

せき じゅう じ赤十字はアンリー・デュナンという人ひとの考えかんがから生まうれました。ひとりひとりが自分じ ぶんで考えかんがて行動こうどうします。

せい しょう ねん せき じゅう じ
いち いん
青少年赤十字の
一員として

おとなになっちいてからではなく、小かつさいうちからの活
動どうをとよおして良しゅうい習慣かんや考かんがえ方かたを身みにつけるよう
努力どりょくします。

しん しん きょう けん
心身を強健にし

活動かつどうには、おもいやりごころの心と、自分じ ぶんを生いかす知ち識しきと
行動こうどうできる体からだが必ひつ要ようです。

ひと 人のためと

ひとはひとりでは生きていけません。わたしは人によって
生かされています。そしてまた、人を生かすことができます。

きょうどしゃかい 郷土社会のため

わたしのいえ、わたしのむら、まち、し、わたしがっこう
私の家に、私の村に、町に、市に、そして私の学校
に、私を必要としてくれる人がいるはずです。

こっか 国家と せかい 世界のために つくすことを ちかいます

わたしはうちゅうせん「ちきゅうごう」ののりくみいん
私は宇宙船「地球号」の乗組員のひとりです。
ほかのひとときょうりよく、ちきゅうかぞく、しあわしく
他の人たちと協力して、地球家族みんなが幸せに暮
らせるよう努力することを決意します。



青少年赤十字のおこり



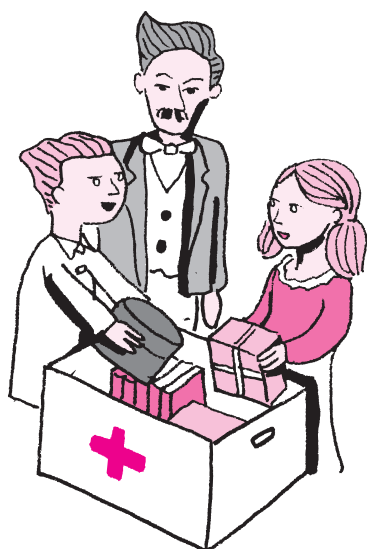
この戦争で、ヨーロッパの人たちは、家を焼かれたり、学校をこわされたり、殺されたり、けがをしたりしました。衣類や食べ物がなくて困っている人もたくさんいました。学校へも行けませんでした。

このときアメリカやカナダ、オーストラリアの子どもたちは、ヨーロッパの人たちをなぐさめ、はげますために、自分たちでなにかできることはないだろうか、と考えました。

青少年赤十字は、1914年(大正3年)にヨーロッパで起きた第一次世界大戦がきっかけで生まれました。



学校の先生と相談して、学校で書いた作文や絵、学用品を集めました。包帯やつくえ・いすなどをかうお金も集めました。そして、これらを赤十字社へ持っていきました。おくりものは、それぞれの赤十字社によって、戦争のぎせいになり困っている人たちに届けられ、たいへん喜ばれました。



第一次世界大戦が終わると、赤十字の中に赤十字社連盟(現在の国際赤十字・赤新月社連盟)がつけられました。

そして、戦争のときだけではなく、平和なときからみんなが助け合う活動を進めることにし、その活動には子どもも参加できるように考えました。平和でお互いが助け合う社会をつくるには、小さいときから思いやりの心を身につけることが大切だと思ったからです。



この子どもたちの考えや行動は、大人の人たちをおどろかせました。大人もおどろくほど、たくさんのあたたかい心と生きる勇気をおくることができたからです。



こうして、第一次世界大戦をきっかけに生まれた国境をこえた子どもたちの活動と、平和を願う赤十字の心が結びついて、各国赤十字社の中に青少年赤十字がつくられることになったのです。1922年(大正11年)のことでした。

日本でも、この同じ年に青少年赤十字が滋賀県の守山小学校にはじめて生まれました。

■ 2. 青少年赤十字活動

ボランティアってなあに？

この絵を見ながら考えてみましょう。

あなたは、どんなことに 気がつきましたか？

- ・ 丸太の橋の上にいるウサギは、何をしようとしていますか。
- ・ かけよっているウサギは、何をしようとしていますか。
- ・ カエルは何をしようとしていますか。
- ・ リス、サル、キツネ、モグラがしていることは何ですか。

ウサギたちは、 なぜこのようなことを しているのでしょうか？

それは、その相手や、まわりの様子を見ればわかります。

- ・ クマはどうですか。
- ・ タヌキはどうですか。
- ・ カメはどうですか。
- ・ 花はどうなっていますか。

この他のことについても考えてください。

つぎ 次のことを考えてみましょう。

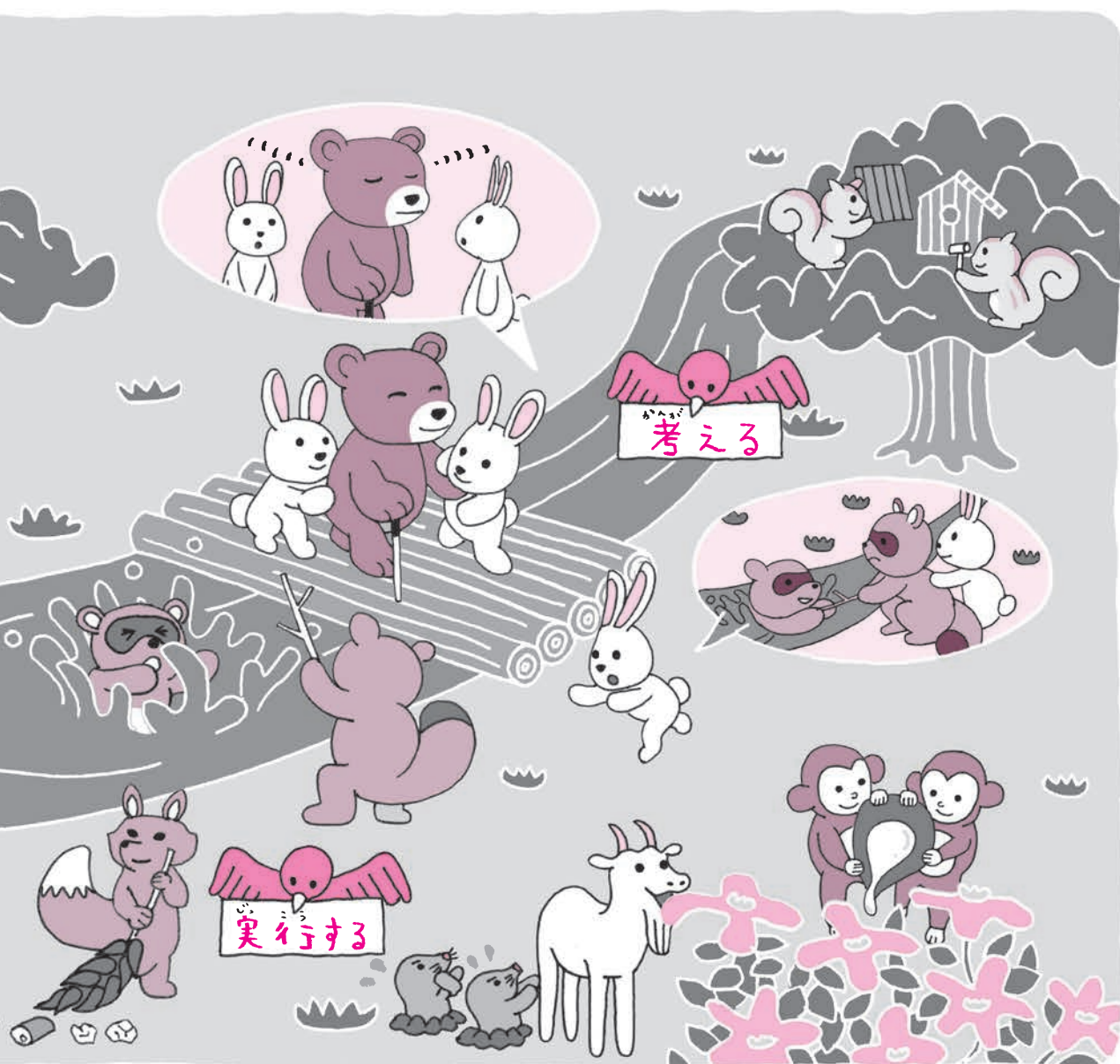
- ・ ウサギたちの行動に共通することは何ですか。
- ・ クマやタヌキたちに共通することは何ですか。
- ・ 行動の結果はどうなりますか。

小鳥たちがぐわえている木の札や動物たちの表情も考えるヒントです。

もう一度、よく見て考えてください。

考えがまとまったら、次のページに進みましょう。





ウサギたちを行動に移させるもの

なぜ、ウサギたちが、このような行動をしたのでしょうか。それは、クマは目が不自由で困っていたからです。タヌキや花の生命があぶなかったからです。空き缶などで汚れていたからです。誰かがそうすることが必要だったのです。これをニーズ(必要性)と言います。ボランティアの出発は、気がつくことです。誰かが困っていることにまず気づくということです。



ウサギたちは、誰かに命令されたのかな？

絵の中に、命令する人がいましたか？ボランティアは、自分から進んで行うもので、誰かに命令されて行うものではありません。もし、命令する人がいるとすれば、それは自分自身です。



おも 思うだけではダメ

「タヌキがおぼれている。助けなくては…」とおも
だけで、タヌキが助かるでしょうか？ おもだけでは
助けになりません。誰かが困っていることに気づい
ても何も行動しなければボランティアにならないの
です。



ウサギたちの得たものは？

ボランティアは、相手から何かをもらうために行
うものではありません。もし、何かをもらうとすれ
ば、お金や物ではなくて、ありがとうという言葉と
笑顔だけでしょう。



いま さい ぜん 今できる最善のことを

おぼれているタヌキに気づいたウサギが、できる
こととして他にどんなことが考えられるでしょう
か？たとえば、救急車を呼ぶ、他の人に知らせるとい
うことも考えられます。

いろいろ考えられることの中から、自分にでき、
その場に最も必要なことを判断して行動します。



じ ぶん じ しん 自分自身のためにも

絵の中でリスが巣箱をかけています。もし、自分
で巣箱を作ろうとすれば、のこぎりやかなづちが使
えなくてはなりません。もっとよい物を作ろうと努
力すれば、その技術は自然と高いものになります。
目の不自由なクマと出会ったウサギが、点字の勉強
をすればどうでしょう。誰かのためになろうとする
のがボランティアですが、それは誰かのためである
以上に自分のためになることなのです。



ボランティアとは

- ・ 困^{こま}っている人^{ひと}にいち早く^{はや}気づいて、自分^{じぶん}からすすんで^{おこな}行うものです。
- ・ 何か^{なに}をもらえることを期待^きして行^{たい}うものではありません。
- ・ 相手^{あいて}のためでもあり、自分^{じぶん}を生^いかし、高^{たか}めるものでもあります。

ボランティア

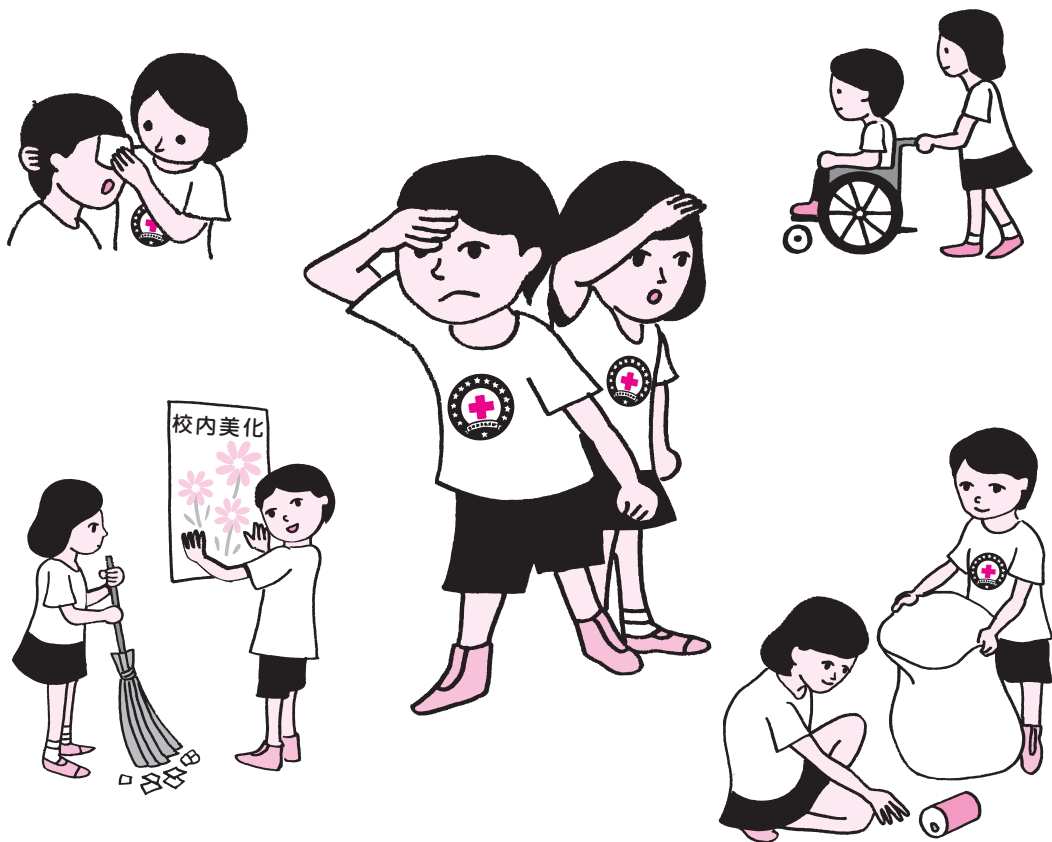
この言葉^{ことば}は、自由^{じゆう}な意志^{いし}という意味^{いみ}のラテン語^ごがもとになっています。自分^{じぶん}の自由^{じゆう}な意志^{いし}で人^{ひと}のために活動^{かつどう}することをボランティア・サービス^いと言^いい、その活動^{かつどう}をする人^{ひと}をボランティアと呼^よんでいます。



まず、自分のまわりを注意深く
見まわしてみましょう。

どんなことに気がつきましたか？どこで、だれが、
どんな助けを必要としていますか？

それでは、あなたは今、何ができますか？



行^{こう}する。そして、…



計^{けい}画^{かく}をたてましょう。

どんな準^{じゅん}備^びが必要^{ひつ}か、自分^じだけでできるかどうかなどよく考^{かん}えて計^{けい}画^{かく}を立てます。自分^じだけではできないときは、友^{とも}だちに呼^よびか^きけて協^き力^{りき}してもらいようにします。

月 日 名前	
困 ^こ ったこと、生活 ^{しん} をよりよくすること (問 ^{もん} 題 ^{だい} や今 ^{いま} 求 ^{もと} められてい ることの発 ^{はつ} 見 ^{けん})	
このようにして、困 ^こ ったことを解決 ^{かい} したり生活 ^{しん} をよりよくしたりします	いつ して どのように
やってみての感 ^{かん} 想 ^{そう} ・反 ^{はん} 省 ^{しやう}	

左^{ひだり}のようなカ^{つか}ードやノ^{けい}ートを使^{かく}うと計^た画^{かく}を立てるのに便^{べん}利^りです。いつでも気^きづいたときに書^かきこみながら自^じ分の考^{かん}えをま^{まと}めま^{まと}しょう。

計^{けい}画^{かく}ができた^{せん}ら、先^{せん}生^{せい}に相^{そう}談^{だん}しま^{しま}しょう。



計^{けい}画^{かく}にそ^{じっ}って実^{こう}行^{こう}しま^{しま}しょう。

そして....

活^{かつ}動^{どう}がおわ^わったら忘^{わす}れず^きに記^{のこ}録^{ろく}を残^{のこ}しま^{しま}しょう。

よ^よか^かったことやう^うま^まくい^いか^かな^なか^かったこと、そ^そしてその^{その}時^{とき}に感^{かん}じたことを記^き録^{ろく}する^{たい}ことが大^{せつ}切^{せつ}です。

それが、次^{つぎ}の活^{かつ}動^{どう}へつ^つな^なが^がって^てい^いく^くの^のです。



わたしにできること

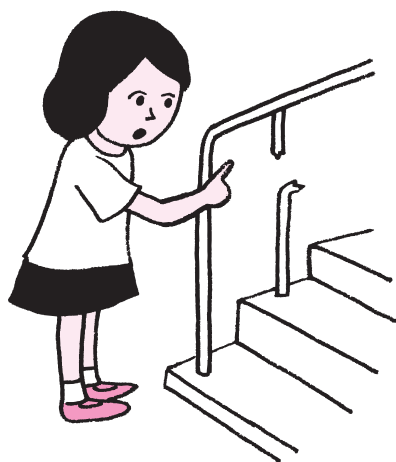
全国の青少年赤十字メンバーは、人に喜ばれる活動を、それぞれやり方に工夫をこらして実行しています。

あなたはどのような活動をしているのでしょうか。

次のなかにあなたがしてみたい活動があれば、学校の先生や仲間と相談して、始めてみませんか？

このほかにも、あなたの思いやりの心とアイデアで、どんどん新しい活動を作りだしていきましょう。

生命と健康を大切にする〈健康・安全〉



● 校内安全パトロール

学校内のきけんな場所を調べて、みんなに知らせたり、修理したりする。

● 健康キャンペーン

手洗いやうがい・歯みがきをしたり、それらと呼びかける運動（ポスターや放送など）をしたりする。

● 給食キャンペーン

- ・ すききらいなく食べる。
- ・ 食べ物と健康の関係を調べ、新聞を作る。
- ・ 「すききらいをなくそう」のポスターを作る。



青少年赤十字健康安全プログラム

青少年赤十字実践目標のひとつに「健康・安全」がありますが、あなたは、自分の健康と安全に注意しながら生活していますか？また、自分だけでなく、けがをしたり、急病になってこまっている人を見たらどうしますか？そんな時のために、「青少年赤十字健康安全プログラム」を学び、自分たちにもできる正しい手当の方法を身につけましょう。

ここで、少しだけ紹介します。

ねんざ

1. 先生や大人に知らせる
2. 動かさない
3. よく冷やす
4. 病院へ行く



もんだり、さすったりしない！

きりきず

1. よごれを洗い流す
2. きれいなガーゼやハンカチをあてておさえる
3. 手当を受ける



きず口を汚れた手でさわらない！

突き指

1. よく冷やす
2. 動かさない
3. 手当を受ける



指を引っばらない！

鼻血

1. 鼻をつまむ
2. あごを引き口で息をする
3. 鼻からおでこにかけて冷やす



首の後ろをたたかない！

このほかにも、健康と安全に関する役に立つ知識や技術がたくさん学べます。また、「青少年赤十字健康安全プログラム」を勉強すると、そのしるしとしてバッジや修了証をもらえます。興味をもったら、先生に相談してみましょう。

人間として社会のため、人のために尽くす責任を 自覚し、実行する〈奉仕〉



● お見舞い

病気^{びょう き}で入院^{にゅういん}したり、欠席^{けつ せき}したりしている人^{ひと}に、お見舞いカードや手紙^{て がみ}を送^{おく}る。

● 障がいのある人の手伝い

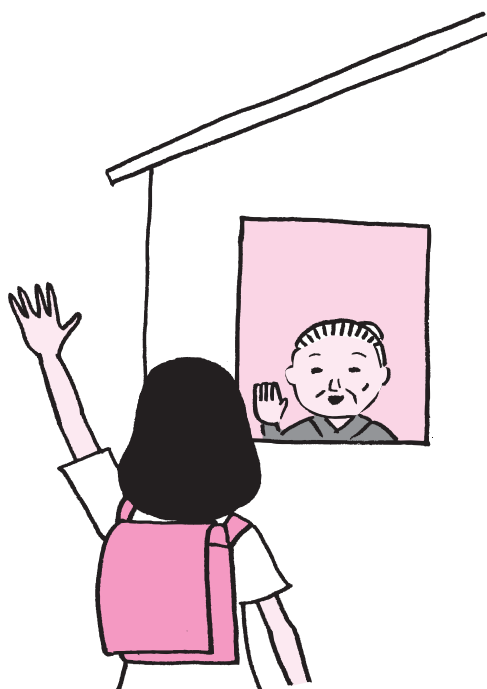
車いす^{くるま}を押^おしたり、荷物^{にもつ}を持^もったりする。
手話^{しゅ わ}や点字^{てん じ}を習^{なら}って役^{やく}に立^たてる。

● お年よりの方に

ひとり暮らし^{ひとり がら}のお年より^{とし かた}に、手紙^{て がみ}を出^だしたり、お話し^{はな}に行^いったりする。
登下校^{とう げ こう}のとき、毎日^{まい にち}声^{こえ}をかける。
バスや電車^{でん しゃ}の中^{なか}で席^{せき}をゆずる。

● 募金

災害^{さい がい}にあつた人^{ひと}たち^{おく}に送^{おく}る。
ふだん^{ふ だん}から青少年赤十字^{せい しょう ねん せき じゅう じ}の活動^{かつ どう}のために、無理^{む り}なくお金^{かね}をためて準備^{じゅん び}をする。



● クリーンキャンペーン

校内や通学路、公園などのそうじ
をしたり、美化ポスター、新聞を
つくったりする。



● 花いっぱいキャンペーン

草花を育て、校内を美しくする。
公共施設などに届け飾ってもらう。



● 空き缶集めなどの収集活動

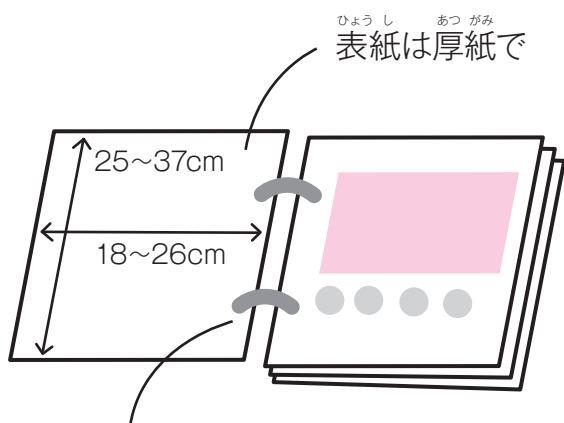
空き缶集めは、資源の再利用、環境
美化にも役立つ。売ってお金にかえる
こともできる。ベルマークなどの収集も
できる。

広く世界の青少年を知り、なかよく助け合う 精神を養う〈国際理解・親善〉

世界の人たちと仲よくなろう

● アルバム交換

にほんの自然や歴史、生活の様子、学校の紹介、自分たちのメッセージなどを
もりこんだアルバムを作って送る。



リボンや、とじひもで。
金属はやめよう。



● ビデオレター

アルバムと同じように、ビデオをとって送る。

● メール交換

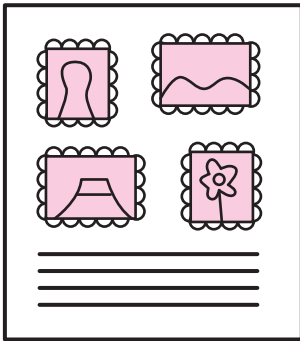
先生と相談しながら、英語で作文し、インターネットを使って送る。



そのほかにもいろいろあります。

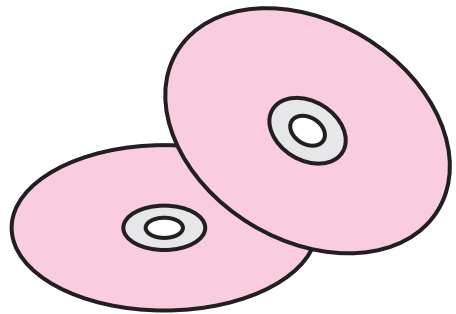
● スタンプカード

日本^{にっ ぽん}の切手^{きって}などを台紙^{だい し}にはり、
簡単^{かん たん}なあいさつをつける。



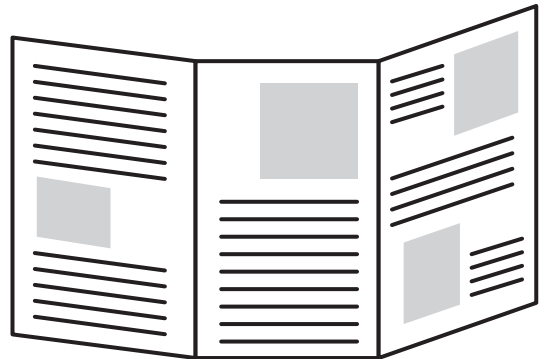
● CD

音楽^{おん がく}やメッセージ^いを入れよう。



● トピックアルバム

3つ折^{おり}にした厚紙^{あつ がみ}を使ってアル
バム^{おな}と同じように作る^{つく}。



★どれにも学校名^{がっ こう めい}、所在地^{しょ ざい}、学年^{ち がく ねん}、名前^{な まえ}
を忘れず^{わす}にローマ字^{じ い}で入れよう。

- 外国^{がい こく}のメンバーが日本^{にっ ぽん}に来たとき、交流^{き こう りゅう}する。
- 外国^{がい こく}で災害^{さい がい}がおきたときに、募金^{ほ きん}などをする。
- 外国^{がい こく}のことを調べて新聞^{しん ぶん}にまとめ、みんなに知らせる^し。

3. 赤十字

アンリー・デュナンを知っていますか？



J. Henry Dunant

みなさんは、アンリー・デュナンを知っていますか？
赤十字は、このアンリー・デュナンの訴えによってつくられたのです。

だから、アンリー・デュナンは「赤十字の父」とよばれ、第1回ノーベル平和賞を受賞しました。

それでは、アンリー・デュナンと赤十字の歴史をたどってみましょう。

アンリー・デュナン誕生

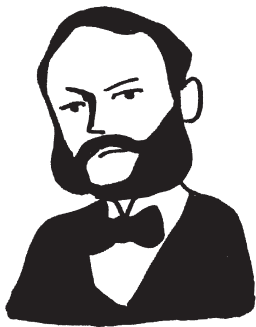
アンリー・デュナンは、1828年5月8日、スイスのジュネーブで生まれました。

ひとくち 一口メモ

世界赤十字デー

アンリー・デュナンの誕生日5月8日には、世界赤十字デーとして、世界中でいろいろなもよおしが行なわれています。ですから、5月8日ごろに「青少年赤十字登録式」をしたり、毎月8のつく日を中心に赤十字週間を実施している学校もあります。

デュナンは、子どものころ両親に連れられて、貧しい人に食べ物を届けたり、病人のお見舞いに行ったりして、多くのおおひとがいろいろな形で助けを求めていることを学びながら育ちました。



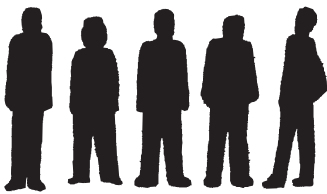
アンリー・デュナンは「ソルフェリーノの戦い」に出会った

デュナンは、仕事で北イタリアを旅行中に、たいへん悲惨な戦争に出会いました。これは、1859年6月、イタリアの統一をめぐるオーストリア軍とフランス・サルディニア連合軍との間でおこった「ソルフェリーノの戦い」といわれるものです。

じつに15時間も戦いが続き、40,000人をこえる兵士が死んだり、傷つき倒れたのです。

この戦場に行きあわせたデュナンは、「みんな同じ人間どうし」という合い言葉のもとに、ありったけの

きりよく 力をふりしぼって、まち ひとびと といっしょに、てき み かた
く べつ へい し たす
の区別なく傷ついた兵士を助けました。



「ソルフェリーノの思い出」から 五人委員会が生まれた

たたか 戦いが終わり、お ジュネーブに帰ったデュナンにとつ
て、ソルフェリーノでの体験は忘れることができま
せんでした。

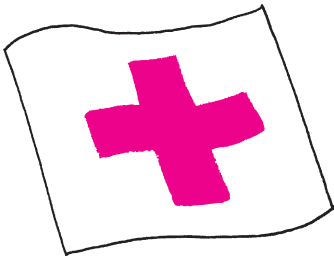
デュナンは、このことを「ソルフェリーノの思い出」
という本に書き、その中で2つのことを訴えました。

せ かい じゅう 世界中の多くの人は、このデュナンの考えに共感

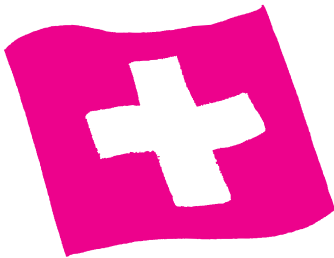
しました。そして、デュナンの考えを実現させるために、5人の人が集まって「五人委員会」ができました。これが、今の「赤十字国際委員会」です。

デュナンの訴え

1. 戦場で負傷した兵士を敵・味方の区別なく救護するために各国で民間の団体を組織しておこう
2. その団体が戦場で安全に活動できるように国際的な約束をしよう



赤十字の旗



スイスの国旗

こうして赤十字が誕生し、 赤十字を支える ジュネーブ条約ができた

五人委員会は、何回も話し合いを続け、1863年10月に、ヨーロッパ各国から代表者をジュネーブに呼び、さらに翌1864年にも会議を重ね、戦場で敵・味方の区別なく手当すること、また、手当を行う人をこうげきしないこと、という「ジュネーブ条約」(赤十字条約)を作りました。

このとき、この団体を表すしるしとして、スイスの国旗の色を逆にした「白地に赤十字」が決まりました。



「ノーベル平和賞」を受けた アンリー・デュナンは

デュナンは、赤十字を作ることに一生懸命になり、自分の会社の経営に失敗してしまいました。

月日がたち1895年になり、一人の新聞記者がスイスのハイデンにある病院で、67歳のデュナンにであい、「この人が、赤十字の父、アンリー・デュナンだ」と発表しました。

世界中の人々は、デュナンがハイデンで世の中から忘れられて生活を送っていることを知り、とてもおどろきました。

その後、1901年に最初のノーベル平和賞がデュナンに贈られました。デュナンは、その賞金のうちの多くを赤十字に寄付し、1910年10月30日、ハイデンの病院で「みな同じ人間どうし」の気持ちを持ちつづけたまま、82年の生涯をとじました。

赤十字って何？

「命を守る赤十字マーク」

赤十字マーク



赤十字のマークは、1863年10月、ジュネーブに16か国36人の代表が集まり、赤十字の基礎を作った最初の国際会議で決まったものです。

赤十字のマークは、もともと戦場で救護活動を行う人を保護するためのしるしですから、平和なときは、赤十字社が活動を行うとき以外むやみにつかうことはできません。

赤新月マーク



「白地に赤十字」のマークは、スイス国旗の色を逆にして生まれたもので、宗教には全く関係ありません。しかし、一部のイスラム教の国では、十字がキリスト教の十字架を連想させるという理由で「白地に赤新月」を使っていますが、赤十字と全く同じ役割のマークとして認められています。

レッドクリスタル (日本語訳検討中)



2005年12月に赤十字の国際会議で、宗教や政治からくる理由で上の2つのマークを使えない国のために、新しく「白地に赤いひし形」のマークを追加しました。

赤十字の基本原則

赤十字は、長い歴史の中で、たくさんの人の苦しみをやわらげ、尊い生命を守ってきました。

また、人間一人ひとりが協力して助け合う活動が続けてきました。

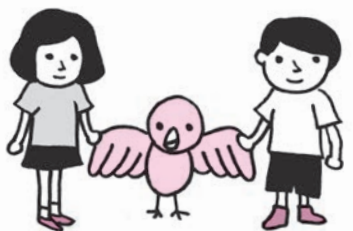
これらの活動を行うときの基本的な考え方を7つの原則にまとめています。

1. 人道



赤十字は戦場で傷ついた人を敵も味方も区別なく助けたいという願いから生まれました。赤十字はいつでも人間の苦しみをやわらげ生命と健康を守るために努力します。

2. 公平



赤十字は、誰に対しても国や民族、宗教などによってひいきをしたり、差別したりしません。

赤十字は、人の苦しみをやわらげることに努め、最も苦しんでいる人から助けます。

3. 中立



赤十字は、いつでもみんなから信頼されるために、どんな争いのときでも、どちらの味方もしません。



4. 独立

赤十字は、国の助け合いの活動に協力し、国の法律に従いますが、いつでも赤十字の原則によって自主的に行動します。



5. 奉仕

赤十字は、苦しんでいる人、困っている人たちのことを考えて行動し、その人々の支えになります。



6. 単一

赤十字は、一つの国に一つしかありません。赤十字は、どんな人でも受け入れ、その国のすべてにわたって活動します。



7. 世界性

赤十字は、世界中につながりを持っています。すべての赤十字はつねに協力しあいます。

ジュネーブ諸条約

救護のために働く人や施設を攻撃しないという各国の約束を決めたのがジュネーブ諸条約です。この条約は、1864年に作られました。

戦争の規模が大きくなるにしたがい、ジュネーブ諸条約で保護される人の対象も増え、今のジュネーブ諸条約は、次の4つの条約と3つの追加議定書でなっています。

1. 陸戦の条約

陸の上で戦って傷ついた兵士を助けます。

2. 海戦の条約

海の上で戦って傷ついた兵士を助けます。

3. 捕虜の条約

敵につかまった兵士を守ります。

4. 文民の条約

戦いに直接参加しない一般の人たちを守ります。

5. 第1追加議定書

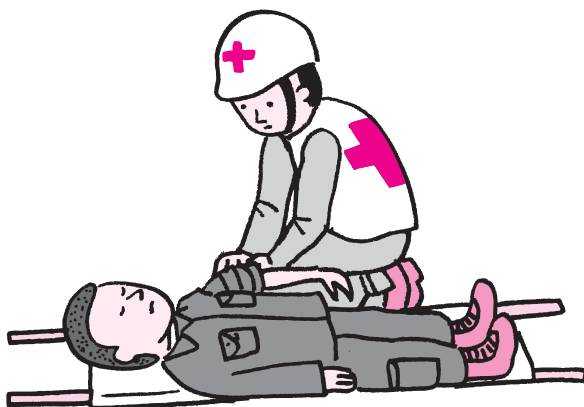
国と国の戦いによって被害を受けた人たちを守ります。

6. 第2追加議定書

国の中でおこった戦い(内戦)によって被害を受けた人たちを守ります。

7. 第3追加議定書

新しいマーク(標章)について書かれています。



国際赤十字のしくみと活動

いま、世界に192の赤十字社・赤新月社があります。赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、各国赤十字社・赤新月社の3つを合わせて国際赤十字といえます。

1. 赤十字国際委員会

スイス人のみで構成され、ジュネーブ条約が守られているかどうかを調べます。
新しい赤十字社の設立を認めます。

2. 国際赤十字・赤新月社連盟

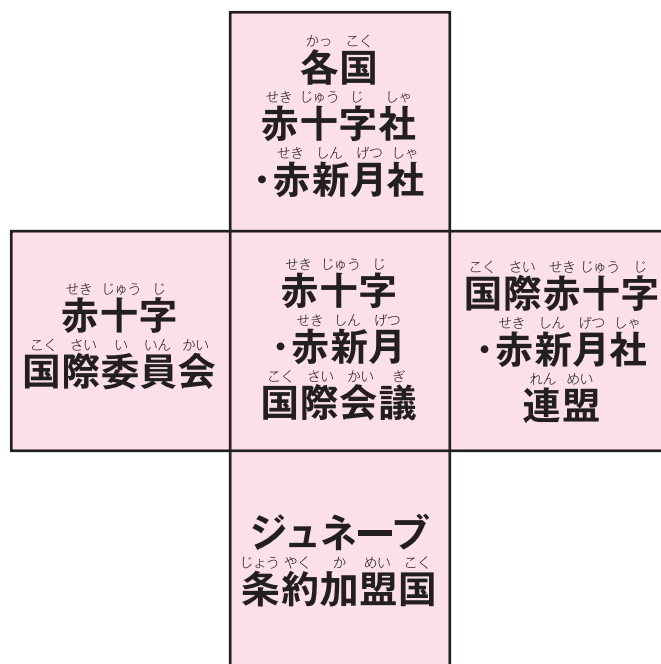
平和なときの赤十字活動の中心機関として作られ、ジュネーブにあります。

3. 各国赤十字社・赤新月社

世界に192の赤十字社・赤新月社があり、さまざまな活動をしています。

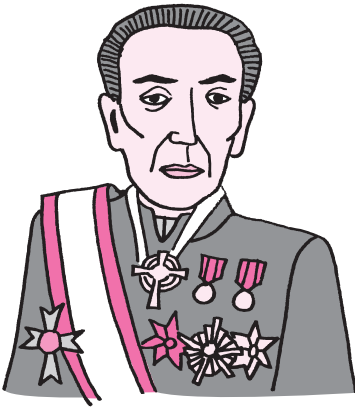
4. 赤十字・赤新月国際会議

4年に1度開かれる赤十字の一番大きな会議で、各国赤十字社・赤新月社、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟の代表のほかに、ジュネーブ条約に加入している国の政府の代表も参加して話し合いを行います。



日本赤十字社のおこり

佐野常民と日本赤十字社

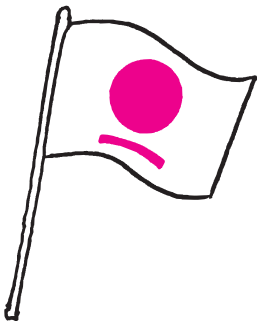


日本赤十字社は、佐野常民らの努力によって作られました。

佐野常民は、1822年、今の佐賀県に生まれ、医学の勉強をしたあと、元老院議員となった人です。

佐野常民は、以前ヨーロッパを旅行したときに、戦いで傷つき倒れた兵士を敵・味方の区別なく救護する赤十字という団体があることを知り、その考え方にとても関心をもっていました。

西南戦争で、 「博愛社」が 作られた



1877年(明治10年)に起こった西南戦争のときには、たくさんの兵士が傷つき、手当を受けることなく倒れたままになっていました。

このとき、佐野常民は同じ元老院議員だった大給恒と相談して、日本にも赤十字のような団体として「博愛社」を作ろうとしましたが、政府からことわられてしまいました。

明治政府は、博愛社が政府の兵士だけではなく、政府に反対している兵士まで助けて手当をしようと考えていることが理解できなかったのです。

そこで、佐野常民は、熊本に行き、政府軍の指揮
をしていた有栖川宮熾仁親王に直接、博愛社を作
て救護することを願いました。傷ついた兵士が倒
れたまま苦しんでいることを知っていた有栖川宮熾
仁親王は、この願いを許し、博愛社はすぐに救護活
動を始めることができました。

多くの生命を救ったこの活動は、当時の人々を大
変おどろかせたといわれています。

西南戦争が終わっても、博愛社はいざというとき
に備えるために活動を続けることになりました。



日本も国際赤十字の 仲間入りをした

1886年(明治19年)に、日本は、ジュネーブ条約
に加入しました。そこで、翌年の1887年(明治20
年)、博愛社は、名前を「日本赤十字社」とかえ、国際
赤十字の仲間入りをしました。

日本赤十字社の活動

赤十字の事業は、その人道的な使命に賛同し全国各地で活動する多くのボランティアによって支えられています。



1. 災害救護

いつ、どこで発生するかわからない災害。地震や台風などの被害で困っている人々を助けるために、義援金を受け付けたり、医師や看護師などからなる救護班をすぐに派遣したりします。



2. 社会活動

心肺蘇生やAEDの使い方など救急法を広めます。また、住み慣れた地域での支え合える仕組みづくりをしています。



3. 青少年赤十字

困ったり苦しんだりしている人を見たら何とかしてあげたいと思う思いやりの気持ちを、子どもの時から大切にしていけます。



4. 国際活動

赤十字は、世界中に組織されているのが特色です。この特色を生かして、外国の災害などに対し、国際的に助け合う活動をしています。



5. 社会福祉事業

お年よりや小さな子どもたち、障がいのある人たちのための社会福祉施設を作り活動を行っています。



6. 医療事業

全国に91ある赤十字病院は、公的な医療機関として多様化する地域医療のニーズに応えているほか、がん診療などの高度医療、救急医療、へき地医療、訪問看護サービスなどを展開しています。



7. 看護師等の養成

看護師の養成は、日本赤十字社が120年以上前から行っている事業です。21の養成施設を設置し、看護師、助産師、保健師、介護福祉士を育成しています。



8. 血液事業

たくさんの人々が、病気やけがで多くの血液を必要としています。その人たちのために、献血をよびかけています。

日本赤十字社の活動を支えている たくさんの会員

今まで紹介してきた赤十字の活動を行うためには、お金が必要です。
活動するために必要なお金は、赤十字を理解する人たちが納める会費が使われます。

この会費を納めたすべての人たちを会員といい、全国でたくさんの会員が赤十字の活動や運営に参加し、赤十字を支えています。



世界の赤十字社・赤新月社

No	国名	承認年	マーク	No	国名	承認年	マーク	No	国名	承認年	マーク
1	ベルギー	1864	+	34	ロシア	1921	+	67	パキスタン	1948	☾
2	イタリア	1864	+	35	コスタリカ	1922	+	68	ヨルダン	1948	☾
3	スウェーデン	1865	+	36	コロンビア	1922	+	69	インドネシア	1950	+
4	ノルウェー	1865	+	37	パラグアイ	1922	+	70	サンマリノ	1950	+
5	スイス	1866	+	38	エストニア	1922	+	71	スリランカ	1952	+
6	オーストリア	1867	+	39	ボリビア	1923	+	72	ドイツ	1952	+
7	トルコ	1868	☾	40	ラトビア	1923	+	73	アフガニスタン	1954	☾
8	オランダ	1868	+	41	エクアドル	1923	+	74	大韓民国	1955	+
9	英 国	1870	+	42	アルバニア	1923	+	75	朝鮮民主主義人民共和国	1956	+
10	デンマーク	1876	+	43	グアテマラ	1923	+	76	ラオス	1957	+
11	ルーマニア	1876	+	44	リトアニア	1923	+	77	チュニジア	1957	☾
12	ギリシャ	1877	+	45	エジプト	1924	☾	78	スーダン	1957	☾
13	ペルー	1880	+	46	パナマ	1924	+	79	ベトナム	1957	+
14	アルゼンチン	1882	+	47	イラン	1924	☾	80	モロッコ	1958	☾
15	ハンガリー	1882	+	48	アイスランド	1925	+	81	リビア	1958	☾
16	アメリカ	1882	+	49	エルサルバドル	1925	+	82	ガーナ	1959	+
17	ブルガリア	1885	+	50	カナダ	1927	+	83	リベリア	1959	+
18	ポルトガル	1887	+	51	ドミニカ共和国	1927	+	84	モンゴル	1959	+
19	日 本	1887	+	52	オーストラリア	1927	+	85	カンボジア	1960	+
20	スペイン	1893	+	53	インド	1929	+	86	ナイジェリア	1961	+
21	ベネズエラ	1896	+	54	ニュージーランド	1932	+	87	トーゴ	1961	+
22	ウルグアイ	1900	+	55	イラク	1934	☾	88	シェラレオネ	1962	+
23	南アフリカ	1900	+	56	ニカラグア	1934	+	89	ブルキナファソ	1962	+
24	フランス	1907	+	57	ハイチ	1935	+	90	コンゴ民主共和国	1963	+
25	チ リ	1909	+	58	エチオピア	1935	+	91	マレーシア	1963	☾
26	キューバ	1909	+	59	ホンジュラス	1938	+	92	アルジェリア	1963	☾
27	メキシコ	1912	+	60	ミャンマー	1939	+	93	カメルーン	1963	+
28	中 国	1912	+	61	アイルランド	1939	+	94	コートジボアール	1963	+
29	ブラジル	1912	+	62	リヒテンシュタイン	1945	+	95	サウジアラビア	1963	☾
30	ルクセンブルグ	1914	+	63	シリア	1946	☾	96	セネガル	1963	+
31	ポーランド	1919	+	64	レバノン	1947	+	97	タンザニア	1963	+
32	フィンランド	1920	+	65	フィリピン	1947	+	98	トリニダード・トバゴ	1963	+
33	タ イ	1920	+	66	モナコ	1948	+	99	ブルンジ	1963	+

Junior Red Cross

No	国名	承認年	マーク	No	国名	承認年	マーク	No	国名	承認年	マーク
100	ベナン	1963	+	132	ベリーズ	1984	+	164	ウズベキスタン	1995	☾
101	マダガスカル	1963	+	133	サモア	1984	+	165	アルメニア	1995	+
102	ネパール	1964	+	134	バルバドス	1984	+	166	アゼルバイジャン	1995	☾
103	ジャマイカ	1964	+	135	カーボベルデ	1985	+	167	ベラルーシ	1995	+
104	ウガンダ	1965	+	136	サントメ・プリンシペ	1985	+	168	マケドニア旧ユーゴスラビア	1995	+
105	ニジェール	1965	+	137	ギニアビサウ	1986	+	169	北マケドニア	1996	☾
106	ケニア	1966	+	138	アラブ首長国連邦	1986	☾	170	キルギスタン	1997	☾
107	ザンビア	1966	+	139	セントルシア	1986	+	171	キルギス共和国	1997	+
108	マ リ	1967	+	140	ギニア	1986	+	172	パラオ	1997	+
109	クウェート	1968	☾	141	アンゴラ	1986	+	173	タジキスタン	1997	☾
110	ガイアナ	1968	+	142	スリナム	1986	+	174	ジョージア	1997	+
111	ソマリア	1969	☾	143	ジブチ	1986	☾	175	ガボン	1999	+
112	ボツワナ	1970	+	144	グレナダ	1987	+	176	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2001	+
113	マラウィ	1970	+	145	チャド	1988	+	177	モルドバ	2001	+
114	レソト	1971	+	146	モザンビーク	1988	+	178	クック諸島	2002	+
115	バーレーン	1972	☾	147	ドミニカ国	1989	+	179	カザフスタン	2003	☾
116	モーリタニア	1973	☾	148	セントビンセント及びグレナディーン諸島	1989	+	180	ミクロネシア	2003	+
117	シンガポール	1973	+	149	ソロモン諸島	1991	+	181	コモロ連合	2005	☾
118	バングラデシュ	1973	☾	150	セイシェル	1992	+	182	東ティモール	2005	+
119	フィジー	1973	+	151	セントクリストファー・ネイビス	1992	+	183	パレスチナ	2006	☾
120	中央アフリカ	1973	+	152	アンティグア・バーブーダ	1992	+	184	イスラエル	2006	◇
121	ガンビア	1974	+	153	ナミビア	1993	+	185	セルビア	2006	+
122	コンゴ共和国	1976	+	154	スロバキア	1993	+	186	モンテネグロ	2006	+
123	バハマ	1976	+	155	チェコ	1993	+	187	モルディブ	2011	☾
124	バブアニューギニア	1977	+	156	スロベニア	1993	+	188	キプロス	2012	+
125	モーリシャス	1977	+	157	クロアチア	1993	+	189	南スーダン	2013	+
126	エスワティニ	1979	+	158	ウクライナ	1993	+	190	ツバル	2015	+
127	トンガ	1981	+	159	バヌアツ	1993	+	191	マーシャル諸島	2017	+
128	カタール	1981	☾	160	マルタ	1993	+	192	ブータン	2019	+
129	イエメン	1982	☾	161	アンドラ	1994	+				
130	ルワンダ	1982	+	162	赤道ギニア	1994	+				
131	ジンバブエ	1983	+	163	トルクメニスタン	1995	☾				

+ は赤十字社、☾ は赤新月社、◇ はレッドクリスタル（日本語訳検討中）の採用社、数字は赤十字国際委員会承認年。
 本表は参考のために掲載したもので国家の法的地位について何らかの立場を示すものではありません。

空は世界へ

そーらは せかいへ つづいてる

そーらは せかいを だいてい る み ん な

ごらんよ あ のー そーらーをー

そーらが ぼくらの わたしらの こころよ

こころよ しょうねん せきじゅう じー

一、空は世界へ

そら 空は世界へ つづいてる
そら 空は世界を だいてい る

みん なごらんよ あ の 空を
そら 空が 僕らの 私らの
こころよ心よ 少年赤十字

二、

花はだれにも 匂つてゐる
花は やさしく 匂つてゐる

みん なごらんよ あ の 花を
花が 僕らの 私らの
すがたよ姿よ 少年赤十字

三、

星はどこでも 光つてゐる
星は 伸よく 光つてゐる

みん なごらんよ あ の 星を
星が 僕らの 私らの
ほこりよ誇りよ 少年赤十字

四、

旗は十字の 愛の旗
旗は かがやく 愛の旗

みん なごらんよ あ の 旗を
旗が 僕らの 私らの
しるしよしるしよ 少年赤十字

青少年赤十字の歌

あけそめる おお ぞらに みなぎるひかり あふれるいのち

われらわ こう ど - われら わ こう ど - け

ん こう のあ しなみそろ え すすむの だか がやくみちを

ひ とす じ - に か が や く み ち - を -

青少年赤十字の歌

一、明けそめる 大空に

みなぎる光 あふれるいのち

われら若人 われら若人

健康の足並そろえ

進むのだからがやく途を

ひとすじに かがやく途を

二、さしのべる手を組んで

あわせる力 つらぬくまこと

われら若人 われら若人

清純の ちかいにこぞり

尽くすの だ 世界のために

人のため 世界のために

三、海こえて へだてなく

呼び合う心 ゆき交うこだま

われら若人 われら若人

親善の 結びもかたく

仰ぐの だ 十字の旗を

ひるがえる 十字の旗を

障がいのある人たちに

青少年赤十字活動、ボランティア活動は、特別なものではなく、私たちが、日常生活の中でできるものがたくさんあるのです。例えば、障がいのある人たちに
対して、どのように接したらいいのか、点字、手話、車いすについて紹介しましょう。

点字

[例]



目の不自由な人たちのために考え出されたものが点字です。点字はタテ3点ヨコ2点の6つの点の組み合わせからなる文字で、凸面を指で触れながら読んでいきます。点字は目の不自由な人たちにとって、かけがえのない知識の窓です。また、目の見える人たちにとっても、点字を勉強して覚えることで、目の不自由な人たちとより深い交流を持つことができるようになり、多くのことを得ることができます。

手話

[例]



とち
友だち

目の不自由な人たちのために点字があるように、耳と口の不自由な人たちのために手話があります。手話は、手のデリケートな動きと表情によってさまざまな意味を表現します。手話を学ぶことによって、耳と口の不自由な人たちとより深い交流を持つことができるようになり、多くのことを得ることができます。

くるま

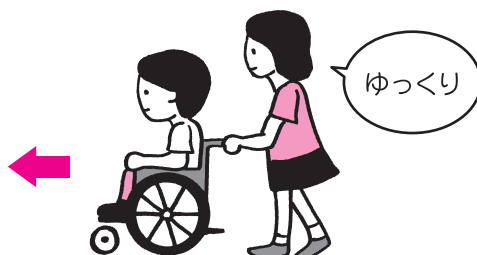
車いす

足などが不自由で、車いすに乗っている人たちとの接し方は、まず、車いすの扱い方を知らなければなりません。そこで、車いすに乗った人との接し方、車いすの扱い方の基本を紹介しましょう。

車いすの押し方

車いすの真後ろに立つ。

前後左右に注意して、ゆっくり押す。



急な坂の下り方

後ろ向きにゆっくりおろる。

その時、ブレーキを軽くかける。

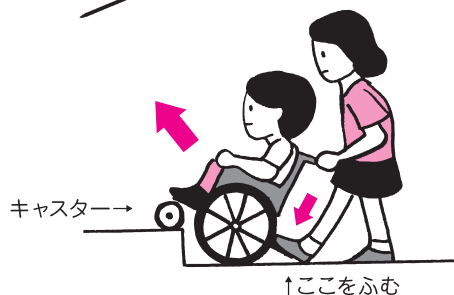


段差の越え方

1. キャスターを上げる。

2. キャスターを段にのせる。

3. 後輪を押し上げる。

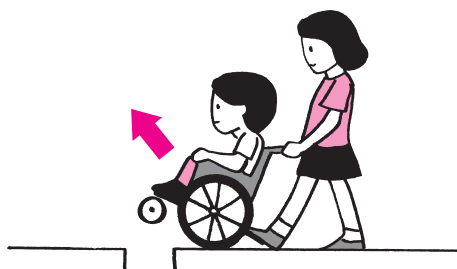


溝の越え方

1. キャスターを上げる。

2. キャスターを溝の向こう側を下ろす。

3. 後輪をうかし気味にして、溝を越える。



すぐにできること

点字や手話を覚えたり、車いすの扱い方になれることは確かに大変なことです。しかし、みなさんにも、障がいのある人たちに対して、すぐにできることがたくさんあります。例えば、駅のホームにある点字ブロックや切符売り場にある点字の案内に、むやみにいたずらしないことや、電車やバスの中で、席を譲ったりすることなどです。ただし、どんな時でも、相手の立場に立って考えてから行動して下さい。



併設する両校が「ともに学び ともに生きる」を共通の意識とした日常の
 交流教育実践校(横浜市立中村小学校・横浜市立中村特別支援学校)

お ぼ え

な	まえ		
名	前		
じゅう	しょ		
住	所		
じ	たく	でん	わ
自	宅	電	話
けつ	えき	がた	
血	液	型	
がっ	こう	めい	
学	校	名	
しょ	ざい	ち	
所	在	地	
がっ	こう	でん	わ
学	校	電	話

青少年赤十字ハンドブック小学生

平成 6 年6月30日 初版発行

令和 4 年6月30日 16版4刷発行

編集者 日本赤十字社 事業局 パートナースhip

推進部 ボランティア活動推進室

青少年・ボランティア課

〒105-8521 東京都港区芝大門1丁目1番3号

電話 03-3437-7083(ダイヤルイン)

FAX 03-3432-5507

ホームページ <https://www.jrc.or.jp/>

発行所 株式会社日赤サービス

